

伸びゆく



News

羽村市史関連講座を行いました

12月5日(土)に、生涯学習センターゆとろぎで、第1回羽村市史関連講座「民俗調査から見えてくる羽村の生活の様子」を行いました。

昨年8月に行った民俗調査(地域別聞き取り調査)(*)を基に、講師が今まで調査した全国の地域と比較しながら、羽村の生活の様子をお話いただきました。

「土葬の時代は、墓穴を掘る「穴番」と呼ばれる当番があった」「家の屋根は麦から葺きで毎年3分の1くらいずつ修理をし、職人が川崎と美原にいた」など、今は姿を消した羽村の昔の様子が見えてきました。

今後も各部会の活動の成果を講座でお伝えしていきますので、ぜひ、ご参加ください。



▲羽村市史関連講座の様子

(*)…昨年8月の民俗調査(地域別聞き取り調査)は、奈賀・田ノ上・間坂・宮地・美原地区を対象に行いました。

-あなたの思い出が羽村の歴史になる- 聞かせてください! 「羽村の昔」

昨年8月に行った習俗や伝承などの地域別聞き取り調査の第2弾を行います。今回は、右の区域が対象です。

昔の衣食住・冠婚葬祭・年中行事・子どもの遊びなど、ぜひ、皆さんの思い出や記憶を聞かせてください。

対象 おおむね70歳以上で、次のいずれかに該当する方

- ①右の区域で生まれ育った方
- ②結婚などで引っ越した後、右の区域に住んでいる方
- ③右の区域の習俗や伝承などに詳しい方



◀昨年8月の聞き取り調査の様子

日時 2月1日(月)~3日(水)
午前10時~、午後1時~、午後3時~
※いずれも1時間30分程度

該当区域 川崎東・川崎西・上水通り・本町第一・本町第二・本町第三・東第一・東第二・清流・五ノ神東・五ノ神中・小作本町・小作台東・小作台西

※会場など詳しくは、広報はむら1月15日号をご覧ください。

部会の手帖



各部会の活動の様子を紹介します。

用語の解説

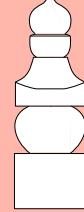
資料…研究・調査・分析の基礎となる材料
史料…文献・遺物など歴史を考察するための素材

ちゅうせいせきぞうくようとう
中世石造供養塔…中世の時代に自分や他人の功德・供養のために建てられた塔

供養塔の種類



板碑



五輪塔



宝篋印塔

第1部会 ～原始・古代・中世～

市内の中世石造供養塔について、板碑 32 点、五輪塔 16 点、宝篋印塔 2 点、計 50 点の資料調査を行いました。

ほかにも、中世における羽村の様子を確認するため、あきる野市大悲願寺で文書調査、青梅市で三田氏関連史料の調査を行うなど、多くの実物資料を確認・調査しました。

また、市内の縄文時代の遺跡発掘調査データをもとに、今後の遺物再整理作業の準備を進めています。



▲三田氏関連史料の調査の様子

第2部会 ～近世～

従来から行っている市内外に残された羽村に関する資料の調査を行っています。この調査では、いわゆる「古文書」と呼ばれているものを中心に撮影・写真の複写を行い、内容の確認・整理を行っています。

そのほかに『羽村町史』の編さん以降、史料調査が行われていない市内の旧家に保管されている史料群の調査を行い、残されている史料の現状を確認し、今後の調査に向けた準備を行っています。



▲個人宅（小作）に残る史料調査の様子

第3部会 ～近代・現代～

引き続き、羽村の行政資料及び写真資料の確認、川崎地区の旧家石蔵内資料の整理、新聞記事目録作成などの作業を行っています。ほかにも、かつての青年団活動の調査、国立国会図書館収蔵資料の調査などを行いました。

さらに、市内旧家に残る近現代資料の所在もわかってきました。

今後は、これらの資料確認や整理作業を進め、明治期から平成に至る羽村の歩みを明らかにしていく予定です。



▲旧家石蔵内資料の整理の様子

第4部会 ～自然～

市内には多くの坂があり、多摩川へ向かって土地が階段状に低くなっています。この地形を、川がつくった河成段丘と呼び、平らな部分を段丘面、その間の坂を段丘崖がけといいます。

地形・地質班では、この段丘のでき方を考えるため、比高調査（段丘崖の高低差の測量）を行いました。また、浅間山近くの地層で、石の種類や配列を調べ、多摩川の河原と比べる礫層調査を行いました。

また、気候班では、3度目の気象観測を行い、生態班では、鳴く虫の調査などを行いました。



▲礫層調査の様子

第5部会 ～民俗～

昨年8月に行った1回目の地域別聞き取り調査（奈賀・田ノ上・間坂・宮地・美原地区）の後、聞き取りした内容の分析を行いました。

現在、さらに詳しく調査が必要な事柄について、個別の聞き取り調査を進めています。羽村の昔の暮らしや年中行事など、一つ一つの事柄に対して深く情報収集を行い、“昔の羽村の姿”をより具体的にしようとしています。

2月には、2回目の地域別聞き取り調査を行いますので、ぜひご協力をお願いします！



▲8月の聞き取り調査の様子



| 月 | 日 | できごと |
|------------------|--------|----------------------------------|
| 平成 27年 10月 | 8日(木) | ① 中世史料調査(あきる野市) ③ 郷土博物館収蔵資料調査 |
| | 13日(火) | ① 中世石造供養塔調査 |
| | 14日(水) | ④ 郷土博物館登録郷土研究員との懇談、市内比高調査 |
| | 15日(木) | 羽村市史編さんだより 第3号発行 |
| | 20日(火) | 第7回羽村市史編さん本部会議 |
| | 25日(日) | ② 郷土博物館収蔵資料調査 |
| | 26日(月) | ①⑤ 市内神社の調査 ⑤ 個別聞き取り調査 |
| | 29日(木) | ① 中世史料調査(青梅市) ③ 郷土博物館収蔵資料調査 |
| 11月 | 9日(月) | ① 中世石造供養塔調査 |
| | 12日(木) | はむらの歴史研修～市史編さん |
| | 13日(金) | 事業を知る～(市職員対象) |

| 月 | 日 | できごと |
|-----|--------|------------------------------|
| 11月 | 14日(土) | 市内寺院の調査 |
| | 15日(日) | ④ 気温の移動観測・風向風速の観測 |
| | 18日(水) | ④ 市内比高調査 |
| | 22日(日) | ① 中世史料調査(青梅市) |
| | 25日(水) | ④ 市内礫層調査 |
| | 26日(木) | ③ 郷土博物館収蔵資料調査 |
| | 30日(月) | 個人宅(間坂)史料所在調査 ① 中世石造供養塔調査 |
| 12月 | 2日(水) | ② 個人宅(小作)史料調査 ④ 青梅市礫層調査 |
| | 5日(土) | 第1回羽村市史関連講座 |
| | 7日(月) | ④ 気温観測データ(定点)の回収 |
| | 15日(火) | ① 中世石造供養塔調査 |
| | 16日(水) | ④ 市内礫層調査 |
| | 21日(月) | ① 中世史料調査(奥多摩町) |
| | 22日(火) | ① 中世史料調査(青梅市・奥多摩町) |

コラム

ちっとなべえ

今年の冬は暖かいといわれています。でも、冬と言えば「雪」。あまりの大雪には困ったものですが、薄らした雪化粧は風情のあるものです。

雪景色のまいまいず井戸や羽村取水堰をご覧ください。雪景色のまいまいず井戸や羽村取水堰をご覧ください。雪景色のまいまいず井戸や羽村取水堰をご覧ください。雪景色のまいまいず井戸や羽村取水堰をご覧ください。雪景色のまいまいず井戸や羽村取水堰をご覧ください。

現在、市史編さん室では、様々な資料を収集し、整理して分析を始めています。その中で、新たな発見も少なくありません。地域の方々への聞き取りによって、生活の様子や地域のつながりが明らかになったことがあります。市内の地形や地層を調べることで、土地の成り立ちがより鮮明に分かるようになってきています。市内のお宅に大切に保存されてきた資料の掘り起こしも進んできています。

新しい資料によって、これまでわからなかったことや不鮮明だったことを明らかにすること

第4回 「景色が変わる」

ができます。つまり、羽村の歩みや人々の生活の様子の「景色」が今までと変わることがわかるのです。そのために、雪化粧のような水墨画的な景色ではなく、色鮮やかな油絵のごとく、誰もがわかりやすく、見やすい「景色」であるよう、一つ一つ丁寧な色付け作業を進めていきます。(M.M記)



▲雪景色のまいまいず井戸

※「ちっとなべえ」とは、羽村の昔ことばで「ちょっと、少しばかり」という意味です。